

館内施設のご紹介

美術情報センター 全国の展覧会案内や、美術関係の図書閲覧、映像ソフト鑑賞など無料でご利用いただけます。

レストラン 80席あるゆとりの空間で、各特別展をイメージしたフランス料理をお楽しみください。

カフェ オープンテラスもあり、お飲み物のほかサンドウィッチなど軽食やケーキもご用意しています。

ミュージアムショップ 当館のオリジナルグッズやポストカード、美術図書などを販売しています。

各種催しのご紹介

美術館をさらに楽しく利用していただくために、当館では展覧会以外にも以下のような各種催しを実施しています。

講演会 美術鑑賞をさらに深めていただくために、展覧会関連の講演会を開催しています。また、年2回開催するKEN-VI文化セミナーでは、著名な文化人をお招きした講演会を開催しています。

ガイドツアー 金・土・日曜日の午後1時から、ミュージアム・ボランティアによるコレクション展のガイドツアーを行っています。(コレクション展開催期間中:無料)

解説会 日曜日の午前11時から、ミュージアム・ボランティアによる特別展の解説会を行っています。(特別展開催期間中:無料)

美術講座 自分でも作品づくりをしてみたい方のための実技講座を実施しています。

子どものためのプログラム 展覧会鑑賞と制作を組み合わせたワークショップなどを、1ヶ月に1~2回行っています。10月には美術館周辺での写生大会、「1000人のおやこ絵画大会」を開催しています。

映画会 ミュージアムホールで、1ヶ月に1回程度劇場映画上映会を行っています。

コンサート 館内の様々なスペースを利用した多彩なコンサートを1ヶ月に4~5回開催しています。

※くわしい内容やスケジュールについては、当館の情報誌「HART」やホームページ、催しごとのご案内をご覧ください。

表紙

元永定正 《くるくるきいろ》2009年 陶

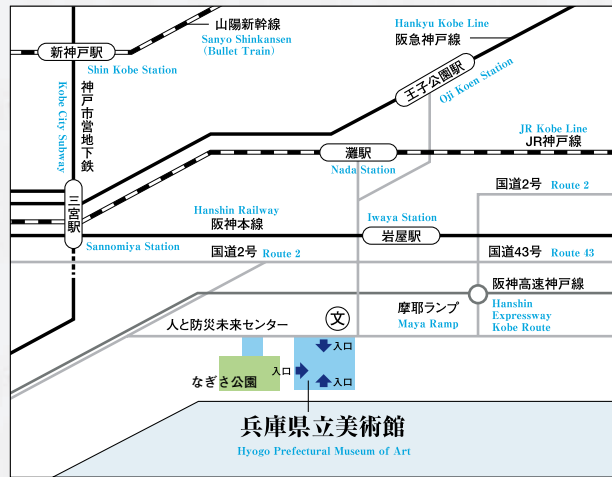
昨春秋、美術館に新たな野外彫刻が設置されました。カフェの前に広がる対岸の倉庫を借景に黄色いくねったかたちをした陶の元永定正作品です。その名も《くるくるきいろ》。250通を超える一般公募の中から選ばれたタイトルです。

美術館ご利用案内

■開館時間
午前10時~午後6時(入場は午後5時30分まで)
夜間開館 特別展開催中の金・土曜日
午前10時~午後8時(入場は午後7時30分まで)
ただし、6月4・5・11・12日を除く

■休館日
月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月31日、1月1日)
メンテナンス休館(2011年1月2日~1月11日)

■観覧料金
●特別展 展覧会によって異なります。
●コレクション展(常設展)
一般/500(400)<300>円
大学生/400(320)<240>円
高校生/250(200)<150>円
()は20名以上の団体、<>は特別展セット割引料金です。
※ 中学生以下無料。
※ 65歳以上の方は、一般観覧料金の半額になります。
※ 障害のある方及びその介護者(1名)は各観覧料金の半額になります。



■交通アクセス
電車
○阪神岩屋駅から南へ徒歩約8分
○JR神戸線灘駅南口から南へ徒歩約10分
○阪急神戸線王子公園駅西口から南西へ徒歩約20分
バス
○JR三ノ宮駅から、阪神バス「HAT神戸行」にて約13分または神戸市バス「101系統」「29系統」にて約15分、「県立美術館前」下車すぐ。
車
○阪神高速神戸線「摩耶ランプ」から「摩耶ランプ南」交差点を西へ。「摩耶ランプ」から約5分。
○国道2号線から「岩屋中町4」交差点を南へ。
○地下有料駐車場 乗用車80台
○団体バス待機所 要事前予約

兵庫県立美術館「芸術の館」
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 (HAT神戸内)
TEL 078-262-0901 FAX 078-262-0903
http://www.artm.pref.hyogo.jp

兵庫県立美術館

HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART

展覧会のご案内

<平成22年度>
2010.4 ▶ 2011.3

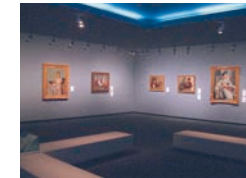


元永定正 《くるくるきいろ》2009年

Exhibition Guide

小磯良平記念室・金山平三記念室(常設展示室2階)

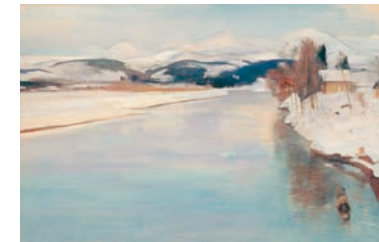
神戸に生まれた近代日本洋画を代表する小磯良平、金山平三の2人の画家の記念室を展示棟2階に設置しています。年間を通じてそれぞれ代表作を中心に20数点を展示しています。



小磯良平記念室



小磯良平《斉唱》1941年



金山平三《大石田の最上川》1948年



金山平三記念室

安藤忠雄コーナー「震災復興プロジェクト」(常設展示室1階)

当館は2002年に阪神・淡路大震災からの「文化の復興」のシンボルとして開館しました。このコーナーでは、当館の建築設計を担当した安藤忠雄建築研究所から寄贈された建築模型・資料類により、当館および近隣のプロジェクトを紹介しています。



